

さなめ寿劇場

其之八

令和7年

1/12^日

開場

13:30~

開演

14:00~15:30

さなめ寿劇場は、かつて米子市淀江町内にあった芝居小屋「戎座」や隠岐の島から譲り受けた「寿座（のちに寿劇場）」を懐かしみながら様々な芸能を楽しんでいただく企画です。笑う門には福きたる！新年の初笑いは「さなめ寿劇場」にお出かけください！



当初 出演を予定しておりました「よしこじゅんじ」は都合により出演ができません。追加出演者として、マジカル江島さんに出演していただきます。
楽しみにされていたお客様には大変申し訳ございません。
なお、出演者変更によるチケットの払い戻しはございません。
何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます

会場

米子市淀江文化センター
大ホール（さなめホール）

入場料

- 大人 1,000 円
- 小学生～高校生 500 円
- ※ 未就学児無料

チケット発売
12月1日^日

プレイガイド

米子市淀江文化センター、米子市公会堂、
米子市文化ホール、米子市児童文化センター

主催・お問い合わせ先

さなめ寿劇場実行委員会
一般財団法人 米子市文化財団 [米子市淀江文化センター]
☎ 0859-39-4050

共催 米子市

< 開館時間 > 9:00 ~ 22:00
< 休館日 > 毎週水曜日 ※祝日の場合は翌日、年末年始 12/29 ~ 1/3



さなめ壽劇場

其之八

令和7年1月12日(日)
米子市淀江文化センター 大ホール

プログラム・出演者紹介

※プログラムは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



い 琴演奏 大門社中

昭和62年に発足。関西音楽指針会米子箏葉会(そうようかい)に所属し、春には米子市で開催される箏葉会主催の演奏会に参加しています。各地の国民文化祭に出演し、平成14年には地元鳥取県での国民文化祭に参加しました。また、モンゴル、韓国、中国など海外でも演奏しています。お正月には毎年ひきぞめ会を行っているほか、発表会、地域の行事、高齢者施設、子育て施設での演奏や、小・中学校では子どもたちに実際に琴に触れてもらう活動など、琴の普及に努めています。現在、2歳半から91歳までの方が稽古をしています。



ろ マジック マジカル江島

大根島の生んだローカルエンターテイナー・マジカル江島は、山陰を中心に活躍するマジシャンです。

1947年 島根県八束郡八束町江島(現・松江市八束町)生まれ。

1960年 手品を独学で学び始める。

1965年 山口県にてマジシャンデビュー。

山陰奇術愛好会顧問、SAMジャパン島根支部会長。

2020年には、山陰中央テレビの人気番組「かまいたちの掟」に出演。

とにかく“傘”を大量に出し続ける傘マジックを披露し大好評!



は 落語 桂文吾門下生 錦亭 だい吾

小学生の頃に米子市児童文化センター落語クラブに参加し、クラブ生として講師の桂文吾さんの指導を受け、落語の世界に入る。

クラブ生当時は「わらべ家だい吾」の名で米子市児童文化センタークラブ発表会や地域の様々な催しに出演。

その後も師匠の桂文吾さんのもとで稽古に励み、令和6年8月18日に開催された全国子ども落語大会「第3回高校生落語甲子園」に出場。「鈴ヶ森」の演目で第3位(豊岡市長賞)入賞。現在、高校3年生。



に 落語 6代目 桂 文吾

京都市出身、米子市在住。上方落語。

昭和27年、15才で5代目 桂文吾の弟子になり、6代目 桂小文吾を名乗る。

大師匠にあたる4代目 桂文吾は、落語の名作「らくだ」を完成させた噺家。

宝塚若手落語会、三越新人落語会などに出演、少年落語家として活動。

昭和32年、20才の時に落語界を離れて宝塚新芸座の座員になり、役者として舞台、テレビ、映画に出演。その後、自分の芸道に行き詰まり劇団を退団、芸能界を引退。昭和40年、28歳の時に縁あって山陰に移住し、ある会社に勤務。63歳で退社。その後、平成13年頃より、上方落語の噺家と交流を図り、山陰の噺家として復帰する。米子市児童文化センター落語クラブ講師。

NHK鳥取「桂小文吾の出前落語」平成14年から16年まで、18本収録。

中海テレビ「桂小文吾の落語会」平成19年から23年まで、30本収録。

倉吉豊田亭にて落語寄席に出演。夜見町迎接院ワンコイン落語寄席を開催。

桂文吾の事を書いた本『噺家根間・雷門小福と桂小文吾』発売中。

シニア劇団「笑劇座」座長。令和4年6月に、6代目 桂文吾を襲名。